

# JA全厚連情報

(毎月 1日 発行)

No.1099 2021年1月1日

## 目 次

- 年頭所感 ..... 1  
    全国厚生農業協同組合連合会 経営管理委員会会長 山野 徹
- 新型コロナウイルス感染症にかかる対応等について協議 ..... 3  
    事業企画委員会を開催

## 通信員だより

- 外国人患者受入れのための多言語案内用モニターを設置 (秋田厚生医療センター) 4
- 鹿島厚生病院第4回相双ホームケアネットワーク in 鹿島の開催 (鹿島厚生病院) 5
- キャリアミーティングへ講師派遣 (土浦協同病院なめがた地域医療センター) 6  
    岸田議員 土浦協同病院を視察 (総合病院土浦協同病院) 7
- 世界糖尿病デー in 相模原協同病院 2020 を開催 (相模原協同病院) 8  
    ELNEC-J 研修を開催 (伊勢原協同病院) 9  
    病棟別防災説明会を実施 (伊勢原協同病院) 10  
    認定看護師研修会を開催 (伊勢原協同病院) 11
- 管理部経営管理職育成研修会を開催 (JA長野厚生連) 12
- 災害時情報伝達訓練の実施 (JA静岡厚生連) 13
- JA高齢者福祉事業研究会レベルアップ研修会をオンラインで開催 (JA静岡厚生連) 14

## お知らせ

◇会議日程 15



全国厚生農業協同組合連合会

〒100-6827 東京都千代田区大手町 1-3-1 JAビル

TEL (03) 3212-8000 FAX (03) 3212-8008

E-Mail: shien@ja-zenkoren.or.jp

(経営支援グループ)

<http://www.ja-zenkoren.or.jp>

編集責任者 中村 純誠

年頭所感  
2021

## 年 頭 所 感



全国厚生農業協同組合連合会

経営管理委員会会長 山野 徹

令和3年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

JA組合員ならびに地域住民の皆様方には、日頃よりJA厚生事業にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年から、新型コロナウイルス感染症が世界各地で猛威を振るっております。新型コロナウイルス感染症に罹患された方々にお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

また、全国の医療機関で働く皆様におかれましては、感染予防対策、コロナ患者の受入対応等で、大変な状況が続いているかと存じます。日々奮闘する皆様のご苦勞に心より敬意を表しますとともに、同感染症の一刻も早い収束を願っております。

JA厚生連では、新型コロナウイルス感染症の国内発生時から多くのコロナ患者を受け入れてきました。その一方で、経営面では厳しい状況に追い込まれています。受診控えや予定入院の延期等によって、入院患者・外来患者ともに大きく減少したほか、各種健診活動の中止等により、健診受診者数も大幅に減少しました。とりわけ、コロナ患者を受け入れている病院は、受入れに伴う風評被害も相まって、大変厳しい状況となっております。

こうした状況をふまえ、JA全厚連では、厚生連の経営支援を最重要課題に位置付け、様々な活動を行ってきました。

特に、補助金の獲得や福祉医療機構からの優遇融資について、各厚生連の担当者と緊密な連携を行うとともに、各厚生連の情報を収集し、好事例の紹介を行いました。これらの取り組みによって一定の経営改善の兆しが認められるものの、経営上の損失を補うにはまだ十分でないことから、引き続き補助金獲得のための要請活動等を行っていくこととしています。

要請活動については、各医療団体とも連携して行っており、昨年4月、地方に多くの病院を有する6団体で構成する「地域医療を守る病院協議会」として要請を行ったほか、7月には、JA厚生連と同じ公的医療団体である日本赤十字社・社会福祉法人恩賜財団済生会と連携し、厚生労働省等へ要請活動を行いました。

こうした要請活動等を通じて、少しずつではありますが、医療機関に対する支援も拡充されつつあると感じております。各医療団体が連携し、医療現場の窮状について、引き続きしっかりメッセージを発信していくことが重要であると考えます。

令和3年においても、当面は新型コロナウイルス感染症への対応が大きな課題になるかと思いますが、JA全厚連役員職員一丸となって地域医療を守るため、しっかりとした取り組みを進めてまいり所存ですので、引き続き、皆様方におかれましても、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 新型コロナウイルス感染症にかかる 対応等について協議

## 事業企画委員会を開催

本会は令和2年11月11日、25日に、Web会議システムを用いて事業企画委員会を開催した。

11日は医療事業部門（医療事業厚生連の常勤役員で構成）を開催し、（1）新型コロナウイルス感染症にかかる対応、（2）令和3年度事業計画（素案）、（3）要改善厚生連等の経営状況、（4）ハラスメント撲滅宣言（例）の策定、（5）厚生連における収益認識に関する会計基準等の適用にかかる動向、（6）農林水産省監督指針の一部改正（素案）にかかる意見、（7）オンライン資格確認の導入一等について検討を行った。

（1）について、委員からは「入院・外来ともに前年度より患者数が約10%減少している状況であるので、第三波が来たときにさらに厳しい状況になるのではないかと懸念がある。来年度以降どのようなようになるのかについては見通せない状況であるので、同程度の空床補償の支援を継続してほしい」、「今年5月、6月に生じた赤字はかなり大きい、県からの補助金等が入金されていない状況である」一等の発言があった。

25日は保健事業部門（健康管理厚生連の常勤役員で構成）を開催し、（1）新型コロナウイルス感染症にかかる対応、（2）令和3年度事業計画（素案）、（3）健康増進活動読本、（4）JA共済加入者への健診・人間ドックサービスの提供、（5）要改善厚生連等の経営状況、（6）ハラスメント撲滅宣言（例）の策定、（7）厚生連における収益認識に関する会計基準等の適用にかかる動向、（8）農林水産省監督指針の一部改正（素案）にかかる意見、（9）オンライン資格確認の導入一等について検討を行った。

（1）について、委員からは「7月までの健診受診者数の減少による影響が大きく響いている。健診の日程を下期に動かすなど調整は行ったが、昨年度と比較すると収入は約8割程度になっている」、「前年度よりも受診者数が落ち込んでしまっていることから、職員一丸となって休日における人間ドックや巡回健診の実施などに努めているが、まだ先行きは不透明である」一等の発言があった。

本会は、委員からの意見をふまえながら、引き続き、厚生連間の取組事例の共有や国に対する要請等を行っていくこととしている。

## □通信員だより□

## 外国人患者受入れのための 多言語案内用モニターを設置

(秋田厚生医療センター)

新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、感染症疑いのある患者さんが他の疾患の患者さんと接触しないように設けられた動線に確実に誘導するとともに、院内感染防止に必要な情報を提供するため、多言語による案内用モニターを正面玄関および救急出入口に設置しました。厚生労働省の「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」を活用したもので、現在は日本語の他、英語・中国語による案内を表示しています。

表示したい文章の翻訳については、契約業者へその内容を送付すると、17言語から希望する言語に文章を翻訳してもらえるとというもので、国際コンテナ船やクルーズ船が往来する秋田港を近隣に持つ当院は、外国人の受診者も恒常的におり、大変効果的なものとなっています。

今後は、同時に導入した翻訳アプリ・電話通訳サービスを付帯したタブレット端末も活用し、今冬懸念される新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に対しても、来院される患者さんへ適切な情報を迅速に提供していきたいと考えています。



多言語案内用モニター

(三浦由佳通信員)

## 鹿島厚生病院 第4回相双ホームケアネットワーク in 鹿島の開催

(鹿島厚生病院)

11月16日(月)にJA福島厚生連 鹿島厚生病院(渡邊善二郎病院長)主催で、第4回目となる相双ホームケアネットワーク in 鹿島を開催いたしました。相双地区の医療・福祉・介護関係者を対象に78名の参加者となりました。この研修会は在宅医療関係者が現状や課題を共有し、今後のあり方を模索する場として、また関係構築の場として企画いたしました。講師には南相馬市立総合病院の脳神経外科医師 織田 恵子先生を迎え「在宅で気になる脳の話」と題し講演いただきました。講演では脳出血や脳梗塞、くも膜下出血など脳疾患のそれぞれの症状や、対応についての内容で、出席者は今後に役立てようと真剣に耳を傾けていました。

この研修会では、多職種関係機関の連携とお互いの関係性をつくることでネットワーク構築につなげ、地域の在宅医療を推進していきます。



講演の様子

(佐藤剛通信員)



## キャリアミーティングへ講師派遣

(土浦協同病院なめがた地域医療センター)

J A茨城県厚生連（酒井義法・代表理事理事長）の各病院では、毎年近隣中学校からの職場体験を受け入れておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、各中学校とも職場体験を断念せざるを得ない状況となっております。

このような中、土浦協同病院なめがた地域医療センター（清水純一病院長）では、職場体験の代替活動として、潮来市立日の出中学校で開催された「キャリアミーティング」へ講師を派遣しました。これは、地元で働くさまざまな職種の方から直接話を聞くことによって、自分の将来や今後の進路選択に生かしていこうという取り組みです。

医療関係の仕事は、生徒からも人気があるということで、看護師、理学療法士、社会福祉士を講師として派遣しました。当日は、手指消毒、マスクの着用が義務付けされたほか、密になるのを防ぐため、2部構成で生徒を入れ替えるなど、さまざまな新型コロナウイルス感染症対策が取られました。

参加したスタッフからは、「みんなキラキラした目で話を聞いてくれ、話す側としても楽しくやりがいを感じた。少しでもみなさんの夢を実現する手助けになれば嬉しいです。」という感想が聞かれました。

短い時間ではありましたが、スタッフの話が希望に満ちた生徒たちの進路選択の一助になれば幸いです。



キャリアミーティングの様子

(酒井一彦通信員)

## 岸田議員 土浦協同病院を視察

(総合病院土浦協同病院)

自民党の岸田文雄前政調会長は12月15日、JA茨城県厚生連が運営する土浦協同病院へ、新型コロナウイルス感染症に対応する医療現場の視察に訪れました。国光あやの衆議院議員、安藤真理子土浦市長、JA県中央会から八木岡努会長も参加し、酒井義法理事長や、河内敏行病院長から、新型コロナウイルスの対応などについて説明を受けました。

医療資源の乏しい茨城県で、第二種感染症指定医療機関と高度急性期・急性期医療を掲げる同院は、新型コロナウイルス感染患者への対応をする一方で、地域医療の基幹病院として一般患者に対しては、受け入れを制限しつつも十分な医療サービスを提供しなければならない義務があります。



視察の様子

感染者が急増する中で、来院時の体温チェックや問診の強化、面会の原則禁止の他、新たな感染防止策として、救急患者が入る集中治療室（ICU）に区切りを設け個室化にすることを12月17日から始めました。

同院での取り組み状況を見た岸田前政調会長は、「コロナ対策に追われている最前線の苦労を肌で感じ取ることができた。医療崩壊を防ぐための様々な支援を考えていきたい」と話しました。

(酒井一彦通信員)



## 世界糖尿病デーin 相模原協同病院 2020 を開催

(相模原協同病院)

相模原協同病院（井關治和病院長）は、糖尿病ケアチーム主催による一般の方を対象とした「世界糖尿病デーin 相模原協同病院 2020」を開催しました。11月14日は世界糖尿病デーとされており、“Unite for Diabetes”（糖尿病との闘いのため団結せよ）というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。相模原協同病院・糖尿病ケアチームでも、世界糖尿病デーにちなんで、糖尿病の正しい知識を知ってもらえるよう無料イベントを開催しました。

当日は身長・体重測定、身体機能測定（握力、2ステップテスト）、看護師による糖尿病療養相談、ロコモ予防運動指導が行われ、メインイベントであるロコモ予防運動指導では、当院 糖尿病・代謝・内分泌内科 山口 真哉 診療部長による講演と運動指導を参加者の皆さんと一緒に行いました。皆さん、講演も運動指導も一生懸命取り組み、関心の高さが伺えました。また、糖尿病療養相談では個別にさまざまな相談に、丁寧にアドバイスをしている様子が伺えました。

参加された方々からは「大変参考になりました」「ロコモ体操よかったです」と高い評価の感想を頂きました。



測定の様子



体操の様子



相談の様子

(八木友里恵通信員)

## ELNEC-J 研修を開催

(伊勢原協同病院)

伊勢原協同病院（鎌田修博病院長）は、看護部で ELNEC-J 研修を開催しました。ELNEC-J とは、エンド・オブ・ライフケア（EOL ケア）に携わる看護師が、より質の高い看護の提供を目的に知識・技術を学ぶ研修会です。

研修は2日間に分けて行い、ファシリテーターは認定看護師委員会のメンバーが担当しました。1日目はグループワークやロールプレイなどのカリキュラムを通じて参加者に自らの課題を発見してもらい、2日目は学んだことを実践に落とし込む内容になりました。皆さん積極的に研修に取り組んでおり、充実した時間になりました。



研修の様子



最後に記念撮影

(八木友里恵通信員)

## 病棟別防災説明会を実施

(伊勢原協同病院)

伊勢原協同病院（鎌田修博病院長）は、病棟別防災説明会を実施しました。伊勢原市消防本部の職員にお越しいただき、各病棟の消火器や消火栓の使い方をはじめ、消防署への通報や防火戸の仕様など、火災発生時の対応に必要な知識を一通り再確認しました。

各病棟と血液浄化センターで説明会は行われ、合計で約70名の職員が参加。消火栓の使い方などは過去の防災訓練でも触れていますが、各病棟で実際に場所を確認しつつ訓練する機会はなかなかありません。万一来臨、参加者は消防士や当院の防災担当職員の話に真剣な眼差しで聞き入っていました。



消防署職員による防火設備の説明①



消防署職員による防火設備の説明②



説明会の様子

(八木友里恵通信員)

## 認定看護師研修会を開催

(伊勢原協同病院)

伊勢原協同病院（鎌田修博病院長）は、認定看護師研修会を開催しました。この研修会は、専門領域の認定資格を取得した看護師が、学んだ知識を当院職員や外部参加者（他院の看護師や他施設職員など）に伝え、業務等に役立ててもらえるようスタートした研修会です。

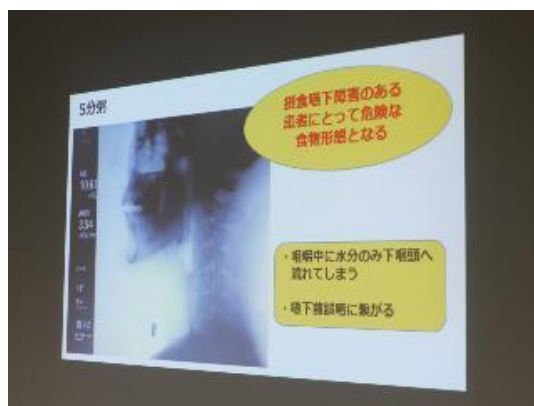
今回は、当院 摂食・嚥下(えんげ)障害認定看護師 7階西病棟 石黒 慎一さんが「食物形態と食事姿勢の関係性について～安全な食事介助を実践しよう～」と題し、食物形態や食事姿勢によるメリット・デメリットを解説。嚥下調整食を段階ごとに分類した「嚥下調整食分類 2013（日本摂食嚥下リハビリテーション学会）」に、当院が患者さんへ提供している食事を当てはめ、それぞれの段階の食物を摂取するために必要な嚥下機能について説明しました。

ゼリー食など嚥下しやすい食物の特徴や、水分の適切なとろみについて紹介した後で、レントゲンで嚥下の瞬間を撮影した動画を参加者に流しました。実際に食べ物がどのように咽頭を通過するのを見せることで、視覚でも分かりやすい説明でした。

最後に石黒さんは、「誤嚥を防止するためには食物形態と食事姿勢の調整が重要です。安全な食事を優先した上で、患者さんの希望や好みに配慮しながら、段階ごとにステップアップしましょう」と伝えました。



講演の様子



レントゲンに映る嚥下の様子

(八木友里恵通信員)



## 管理部経営管理職育成研修会を開催

(JA長野厚生連)

JA長野厚生連（社浦康三・代表理事理事長）は11月24日に管理部経営管理職育成研修会を開催し、事務課長・事務主任を中心に21名の参加がありました。この研修会は、組織理念・方針の達成に向けた経営改善手法の知識を習得する事を目的とし、今年で2回目の開催となりました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から、オンラインでの研修となりました。

講師には、有限責任監査法人トーマツの石井 知浩氏と梁瀬 亮氏を迎え、キャッシュ・フロー計算書を読み取る技術、財務会計と管理会計、CVP分析について学びました。CVP分析では、受講者が牛井チェーン店のオーナーとなり、計算機を用いながら、限界利益や損益分岐点の求め方、高低2点法による固定分解を行うなど、かなり専門的かつ高度な内容の研修となりました。受講者からは、「ここまで専門的に学んだ研修は初めての経験だった」などの声が聞かれました。経営管理者候補を育てていくため、今後も継続的に行う予定としています。今回の学びが当会の経営管理に活かされることを期待します。



研修会の様子

(山岸愛通信員)

## 災害時情報伝達訓練の実施

(JA静岡厚生連)

静岡市駿河区のJA静岡厚生連(荒田庄治・代表理事理事長)は11月17日、災害時情報伝達訓練を実施しました。

災害時伝達訓練は、地震によって電話等が使用できない場合に備え、各事業所に設置しているMCA無線機を使用して情報伝達を行う訓練です。遠州病院(大石強病院長)、清水厚生病院(中田恒病院長)、静岡厚生病院(水野伸一病院長)、中伊豆温泉病院(安田勝彦病院長)、きよみの里(伊藤歩施設長)、厚生連看護専門学校(藤田美保子学校長)、するが看護専門学校(諸星浩美学校長)の順に本所にある災害対策本部との通信訓練を行いました。

これからも有事に備え訓練を継続的に行い、地域に貢献していきたいと思えます。



MCA無線訓練を行う職員

(望月俊宏通信員)



## J A高齢者福祉事業研究会レベルアップ研修会を オンラインで開催

(J A静岡厚生連)

12月10日、J A静岡厚生連（荒田庄治・代表理事理事長）は介護事業を行う県下J Aグループの介護従事者を対象に、令和2年度J A高齢者福祉事業研究会レベルアップ研修会を開催しました。

「感染対策について」と題し、清水厚生病院（中田恒病院長）の感染管理認定看護師である望月龍子看護副部長が講師となり行われました。

参加者は日頃の感染予防対策の確認を含め、手指衛生の方法等を学んでいました。

今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの研修会となりました。



研修会の様子

(望月俊宏通信員)

## □お知らせ□

### □会議日程

令和3年(2021年)

- 1月14日(木) 理事会 15時30分から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)
- 1月21日(木) 厚生連常勤役員・参事会議 13時から(WE B開催)
- 1月28日(木) 厚生連会長会議 11時から(WE B開催)
- 2月3日(水) 理事会 13時から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)
- 2月17日(水) 経営管理委員会 13時から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)
- 3月3日(水) 臨時総会 11時から(東京・平河町・JA共済ビルカンファレンスホール「ホールA-D」)
- 3月11日(木) 理事会 15時30分から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)
- 4月21日(水) 理事会 15時30分から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)
- 5月19日(水) 理事会 15時30分から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)
- 5月27日(木) 厚生連常勤役員・参事会議 13時から(都内)
- 6月9日(水) 理事会 15時30分から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)
- 6月22日(火) 経営管理委員会 13時から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)
- 7月9日(金) 理事会 15時30分から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)
- 7月14日(水) 経営管理委員会 13時から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)
- 7月28日(水) 通常総会 11時から(大阪(仮))  
経営管理委員会 上記終了後(大阪(仮))  
理事会 上記終了後(大阪(仮))
- 9月16日(木) 理事会 15時30分から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)
- 9月28日(火) 厚生連常勤役員・参事会議 13時から(東京・KKRホテル東京10階「瑞室の間」)
- 10月15日(金) 理事会 15時30分から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)
- 10月22日(金) 経営管理委員会 15時30分から(未定)
- 11月18日(木) 厚生連部課長会議 13時から(都内)
- 12月3日(金) 理事会 15時30分から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)
- 12月9日(木) 経営管理委員会 15時30分から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)

令和4年(2022年)

1月12日(水) 理事会 15時30分から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)

1月20日(木) 厚生連常勤役員・参事会議 13時から(都内)

1月27日(木) 厚生連会長会議 13時から(都内)

2月2日(水) 理事会 15時30分から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)

2月16日(水) 経営管理委員会 13時から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)

3月3日(木) 臨時総会 11時から(都内)

3月10日(木) 理事会 15時30分から(東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」)